



# News Release

2022年5月30日

日本製鉄株式会社

日鉄ソリューションズ株式会社

## 日本製鉄、NSSOLとともに統合データプラットフォーム「NS-Lib」を構築 ～全社のデータを集約、カタログ化し、データドリブン経営を目指す～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、日鉄ソリューションズ株式会社（以下、NSSOL<sup>※1</sup>）の統合データマネジメントサービスをベースに、経営情報や KPI をリアルタイムに把握し的確なアクションを可能とする統合データプラットフォーム「NS-Lib」を2022年4月に構築しました。

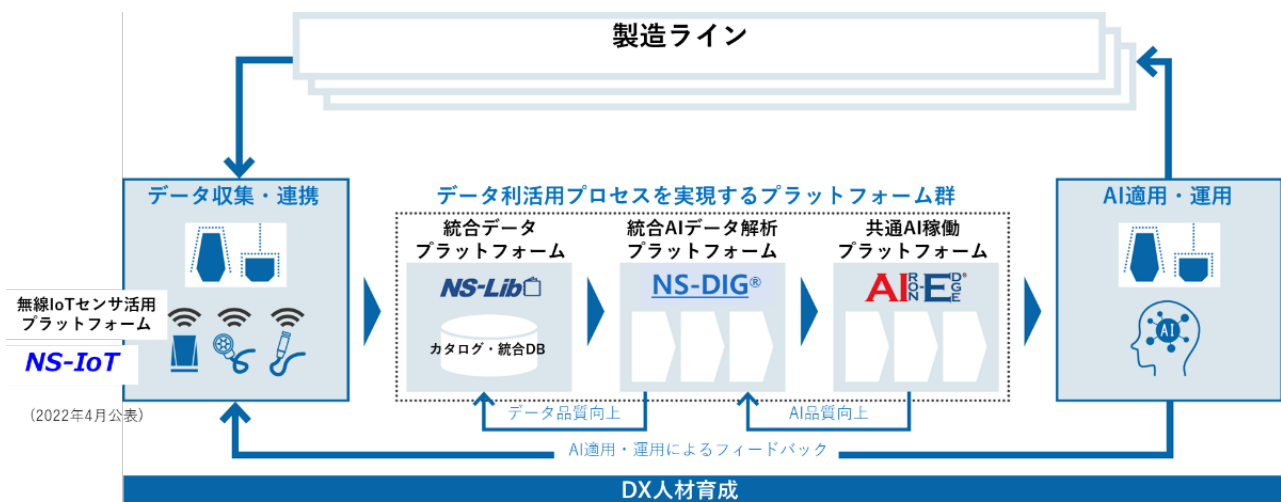


図1. 日鉄 DX 推進におけるデータ利活用プラットフォーム

日本製鉄は、中長期経営計画で掲げているデジタルトランスフォーメーション戦略を踏まえ、経営上必要とするデータおよび各製鉄所で個々に蓄積しているデータを NS-Lib においてカタログ化<sup>※2</sup>するとともに統合集約し（つなげる力）、経営レベルから第一線まで同じデータを元にした迅速で高度な意思決定・課題解決を実現します（あやつる力）。今年度は北日本製鉄所室蘭地区、瀬戸内製鉄所広畑地区のデータを対象とし、順次全社に適用を拡大します。また、このようなデータプラットフォームを業務の中で高度に活用ができ、改革を企画・実行できるシチズンデータサイエンティストを2025年までに1000名以上育成します。さらに、これらデータを使いこなすDX人材（データ基軸で業務課題を抽出し解決できる人材）の育成も促進しており、2030年までにスタッフ全員のDX人材化を目指します。

日本製鉄はデジタルトランスフォーメーション戦略の一環として、これまで統合データ解析、AI 開発プラットフォーム「NS-DIG®」や無線センサ利活用プラットフォーム「NS-IoT」、IoX<sup>\*1</sup> ソリューション「安全見守りくん」<sup>\*1</sup>などを導入し、製鉄現場における AI 技術や IoT の活用に取り組んできました。

今回導入した NS-Lib(統合データプラットフォーム)は、NSSOL が提供するデータマネジメントサービスを活用し、AI/IoT を含めた様々な全社データの収集・蓄積、さらにはユーザがそれらのデータの意味を正しく理解し、セキュリティ上安全に活用できる環境を構築しています。これにより迅速に全社のデータ<sup>\*3</sup>利活用が可能となり、データドリブン経営の実現を目指します。

本プラットフォームで活用しているデータマネジメントサービスは、NSSOL より、統合データマネジメントプラットフォームとして DX を推進する企業様向けに 2022 年 7 月に販売開始する予定です。

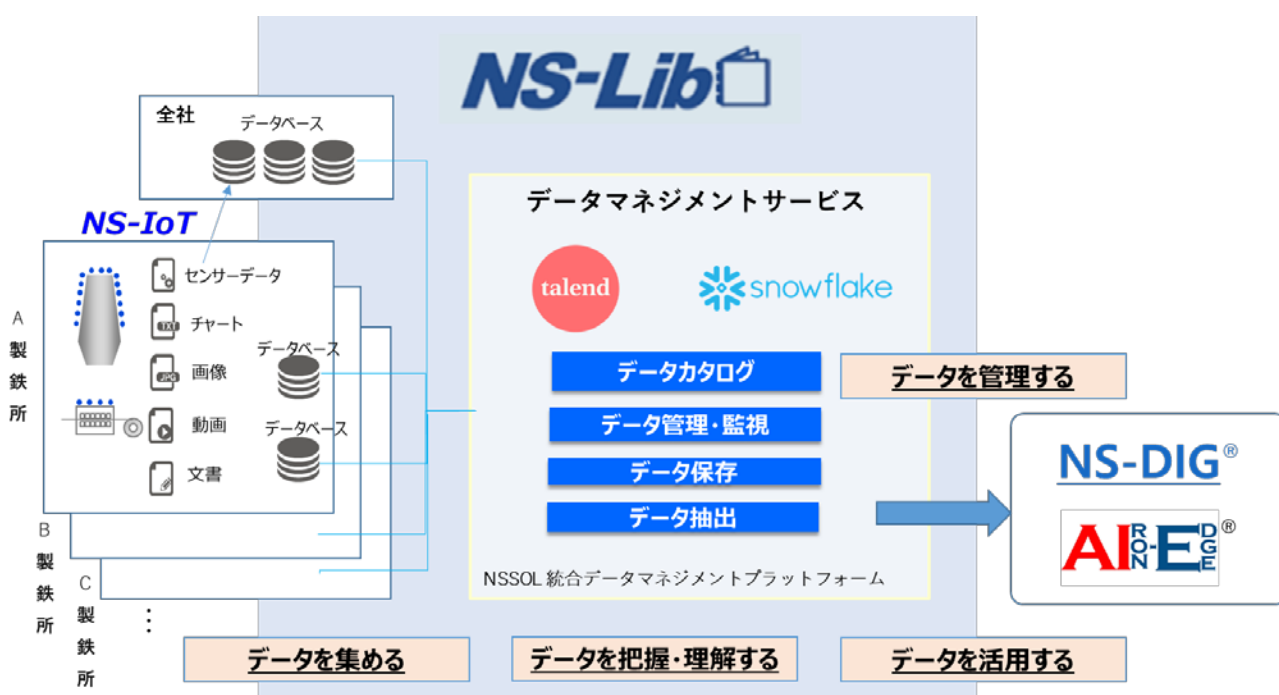


図 2. 統合データプラットフォーム「NS-Lib」概要

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「産業と技術革新の基盤をつくろう」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

NSSOL は「ファースト DX パートナー」として、ともに製造業界全体の未来を考え、DX の意志を文化に昇華させる「デジタル製造業」の推進を通して、社会の新たな可能性を切り拓くソリューションを提供して参ります。

- ※1：NSSOL、IoX、安全見守りくんは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です
- ※2：カタログ化とは、データの素性や定義、意味合いなどのメタデータを登録すること。また、各データの所在地・システム情報も登録する。
- ※3：鋼材製品、生産実績、保全設備、画像データ、ドキュメントも含む全社のデータ

・本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です

お問い合わせ先：

日本製鉄総務部広報センター TEL：03-6867-2977

日鉄ソリューションズ IoX ソリューション事業推進部 [iox-mkt@jp.nissol.nipponsteel.com](mailto:iox-mkt@jp.nissol.nipponsteel.com).

日鉄ソリューションズ管理本部サステナビリティ推進部広報・IR室 [press@jp.nissol.nipponsteel.com](mailto:press@jp.nissol.nipponsteel.com)